

2009年4月2日
IR3S/WISPJ マクロ班・主査
松岡 俊二

IR3S・WISPJ マクロ班・第6回研究会・記録

日時：2009年4月1日（水）17:00-19:00

会場：アジア太平洋研究科・応接室

出席：松岡、太田、瀬川、吉田、栗田、若田部（ジャーナリズム班）、長岡（総研）

欠席：中村

1. 2009年度の活動

・マクロ班はジャーナリズム班と共同し、新聞社や政策担当省庁のキーパーソンを対象とした、少人数の共同研究会（WS、インタビュー中心）を行う。

・今後の予定は以下を考える。

4/22（水）18:30-20:00：研究項目・方法・仮説などに関する研究会（瀬川教授・松岡報告）

4/23（木）、4/24（金）、4/25（土）毎日新聞・温暖化担当記者とのWS（瀬川教授担当）

5月中下旬 環境省・経産省の温暖化担当者とのWS（吉田教授担当）

6月中下旬 日本経済新聞社の温暖化担当論説委員とのWS（瀬川教授担当）

7月中には、下記2.（4）に向けた企画書第一次案を作成する。

2. マクロ班の2009年度（最終年度）の研究方針

（1）2008年度の研究成果を踏まえ、引き続き「気候政策の政治的意思決定とジャーナリズム」の研究を継続し、『気候政策の政治経済学とジャーナリズム』（仮題）といったタイトルで書籍を編集・出版する。ジャーナリズム班との連携・協力を行い、ジャーナリズム班から若田部教授の参加も検討する。

（2）第5回IR3S育成評価会（2008年12月16日、東京大学）における議論において、温暖化とマスコミ・ジャーナリズム（第4権力としてマスコミ）の研究の必要性および期待が指摘された。これを受け、マクロ班として政策提案型・政策選択型報道（大学における学術研究とジャーナリズムとの連携）の可能性を検討したい。

（3）上記の研究活動を踏まえた国際シンポの開催（時期的には12月上旬のCOP15などが終わった後の1月後半を考える）を考える。→2010年1月28日（木）or29日（金）予定

3. WISPJの2010年度以降の方向について

・2009年度の方針を明確化する中で、WISPJとしての2010年度以降の体制・方針を検討する。